

野木町煉瓦窯および野木ホフマン館



場所

栃木県下都賀郡野木町大字野木3324-10

アクセス



- 電車・バス
JR宇都宮線野木駅から、タクシーで約10分
- 車
東北自動車道「佐野藤岡IC」より約30分

概要

野木町煉瓦窯および野木ホフマン館

明治の近代化に伴う日本の煉瓦建築を支えた煉瓦窯。赤煉瓦焼成用のホフマン式輪窯で、現存する中では唯一原形をとどめて保存されている。昭和54年（1979年）に国の重要文化財に指定。

煉瓦の原材料として、渡良瀬遊水地の湿地帯から粘土を、思川から川砂を採取していた。また、稼働していた当時は渡良瀬川から煉瓦工場の敷地まで運河が引き込まれていた。

隣接の「野木ホフマン館」は、ありのままの自然や文化・歴史を学習、体験できるスポット。ラムサール条約登録湿地である「渡良瀬遊水地」にも簡単にアクセスできる。レンタサイクルで遊水地や近隣寺社の散策や、体験学習施設では手作りピザなども楽しめる。

取り組み

煉瓦窯夏フェスタ毎年7月下旬に開催し、ひまわりフェスティバルとの同時開催。同冬フェスタは毎年12月に開催し、イルミネーション等を実施。

問合せ

野木ホフマン館（野木町交流センター）
電話：0280-33-6667
煉瓦窯の外観見学は無料、内部見学は100円/人（15人以上の団体80円/人）
開館時間：9-20時、見学は17時まで
定休日：月曜（祝日の場合は翌平日が休み）
駐車場：80台（うち大型バス5台）